

第 29 期放射線安全取扱部会 部会長，副部会長ご挨拶

みんなで部会を活用しましょう

部会長 上 蓑 義朋



このたび宮越順二先生から引き継ぎ、第 29 期放射線安全取扱部会の部会長に就任いたしました。

部会では、毎年秋に年次大会を開催するほか、7つの支部が教育訓練（新規と再教育）、見学会などを行っ

ています。

北海道から九州の支部持ち回りで開催する年次大会では、原子力規制庁の担当官から最新の規制の状況や事故事例を聞くことができるほか、放射線の安全管理や利用に関するトピックス、開催地に特に関係する興味深い話を聞くことができます。またポスター発表を通じて、放射線安全に関する様々な工夫などについて情報を交換することができます。今年は関東支部の担当ですが、つくば大会（第 41 回、2000 年）以来久しぶりに東京以外の場所で開催します（本号の案内をご覧ください）。多くの会員が参加されて、一緒に勉強されることを望みます。

小さな事業所では、独自に教育訓練を実施するのはかなりの負担です。支部が各地で開催する教育訓練を利用すれば、主任者の負担は軽減されます。また従事者が多い事業所では、講師の派遣を依頼することも可能です。このような事業を利用すれば、みなさまはもっと現場の管理に集中することができるようになります。部会では今年度作業班を設け、使用する教科書の改訂をするなど、教育訓練の質の向上にも努めています。

既に放射線取扱主任者の資格をお持ちのみなさまには直接は関係しませんが、部会では、支部で分担して第 1 種、第 2 種放射線取扱主任者試験の解答例を作成しています。従来は Isotope News 誌に掲載していましたが、今年度からは Web に公開の予定です。主任者の資格を有する方の確保は事業所にとって大きな問題です。解答例には丁寧な解説がついていますので、資格取得を目指す方の勉強に役立ちます。周囲の方に利用を勧め、有資格者の確保に役立てていただければと思います。

私ども放射線の事業所は、原子力規制委員会から許認可や立ち入りなどを通じて規制されていますが、監督官庁である規制委員会はまた、国際原子力機関（IAEA）から、規制の方針、方法などが管理されています。最近では総合規制評価サービス（IRRS；Integrated Regulatory Review Service）として、IAEA の専門家チームが規制委員会に対して勧告と助言を行います。それに基づき規制委員会では、安全文化、品質保証、防災対策などについて、法改正の必要性が検討されているようです。このような動向は、年次大会に参加すれば、規制委員会から来ていただく講師から直接最新情報を得ることができます。また部会としても、必要があれば、合理的で効率的な規制が行われるよう、規制委員会に働きかけることがあるかもしれません。

放射線安全取扱部会は、放射線取扱主任者で構成される組織として唯一のものです。これからも、放射線に係る安全の向上と、適切な利用の促進に貢献していきたいと思います。それには部会員のみなさまの協力が必須です。どうぞよろしくお願いいたします。

（理化学研究所 仁科加速器研究センター）

副部会長のご挨拶

副部会長 中島 覚



前期に引き続き第29期の副部会長と企画専門委員会委員長を仰せつかりました。上叢部会長を支えて部会の活動を積極的に進めてまいりたいと思います。

前期は特に、分科会活動の活性化に努めてまいりました。メディアリテラシー分科会は、年次大会でシンポジウムを開催しました。他の分科会も年次大会の際に集まって分科会を開催したようです。その中から、今期には教育訓練のワーキンググループが立ち上がり、企画専門委員会を越えて活動が始まりましたことは嬉しい限りです。分科会は、部会員であれば誰でも提案、申請できます。部会員一人一人の提案を積極的に応援したいと思います。そして、支部活動と並ぶ分科会活動にできればよいと考えています。ぜひ積極的に申請をしてい

ただき、活動をお願いいたします。

大学の教員として学生を指導しておりますが、ささやかな賞の受賞がきっかけとなり、飛躍的に伸びた学生などを見てきました。昨年、部会の功労表彰をさせていただきました。このような賞が部会活動の活性化のきっかけになればよいと考えております。そのための制度をもう少し整備したいと考えています。放射線管理に関わっておられる方がもっとハッピーになれるとよいと思います。

今期はさらに、主任者や管理担当者の仕事について切り込みたいと考えています。「安全文化の醸成」というのは私にとって漠としてつかみにくいものですが、何か問題が発生したときにはそれにどのように対処するのか、今後そのような問題が起きないようにするにはどうすればよいのか、というのは私たちが普段行っていることであります。この点に関しても企画専門委員会として迫りたい点です。

以上のように考えておりますが、まだまだ不勉強であります。皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(広島大学自然科学研究支援開発センター)

良き出会いの場に

副部会長 池本 祐志



このたび副部会長を拝命いたしました。思い返せば約30年前に今は亡き栗原紀夫先生に出会って教を受けたのがきっかけとなり、私は放射線の世界に入ることになりました。

その後、順風満帆ならば良かったのですが、大きな問題を起こしたこともありました。その際には監督官庁の皆様には勿論のこと、所属していた製薬放射線コンファレンスの皆様に助けいただきました。もう駄目かと思った時にも見

守ってくださった先生方がおられました。多くの方々の支えがあって今の私があります。放射線管理の現場を離れてからも福島復興支援や広報専門委員をさせていただいているのも、多くの方々との良き出会いがあったからです。事業所の中での主任者はどちらかというと孤独な立場かもしれません。放射線安全取扱部会が、そのような皆様の素晴らしい出会いの場であって欲しいと思います。昔の自分が助けられたように、少しでも皆様のお役に立てる部会であるように努めたいと思います。甚だ頼りない副部会長ではありますが、微力ながら上叢部会長を補佐して参ります。皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

(日本農薬(株) 研究開発本部)